

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	5	8	百日咳	1	1
RSウイルス感染症	58	70	ヘルパンギーナ	2	3
咽頭結膜熱	55	49	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	2	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	121	74	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	536	398	流行性角結膜炎(はやり目)	17	16
水痘	59	53	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	53	40	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑(りんご病)	3	0	マイコプラズマ肺炎	0	0
突発性発しん	42	35	クラミジア肺炎	0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- A群溶血性連鎖球菌感染症
- 水痘

- 感染性胃腸炎 報告数: 536件(前週: 398件) 地区別: 菊池、有明、山鹿 年齢別: 1歳 106件(19.8%)
- A群溶血性連鎖球菌感染症 報告数: 121件(前週: 74件) 地区別: 菊池、熊本市、宇城 年齢別: 6歳 21件(17.4%)
- 水痘 報告数: 59件(前週: 53件) 地区別: 菊池、宇城、天草 年齢別: 1歳 15件(25.4%)

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所	5	30	24	67	100	19	7	2	21	0	0	2		15						
山鹿保健所	0	0	0	0	32	0	10	0	0	0	0	0	*	*						
菊池保健所	0	17	30	31	151	23	28	0	11	1	2	0								
阿蘇保健所	0	0	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	*	*						
御船保健所	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	*	*						
八代保健所	0	4	0	5	50	0	0	0	4	0	0	0								
水俣保健所	0	0	0	1	7	0	1	0	0	0	0	0	*	*						
人吉保健所	0	0	0	5	45	0	3	0	1	0	0	0	*	*						
有明保健所	0	0	0	2	80	0	1	1	3	0	0	0		2						
宇城保健所	0	4	1	7	49	9	1	0	2	0	0	0	*	*						
天草保健所	0	3	0	1	11	8	1	0	0	0	0	0								
計	5	58	55	121	536	59	53	3	42	1	2	2	0	17	0	0	0	0	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	5							3	1	1											
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	58	9	10	26	9	3	1														
咽頭結膜熱	55	1	2	10	11	14	7	6	1	2	1										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	121		2	8	7	12	12	20	21	14	17	1	4		3						
感染性胃腸炎	536	6	35	106	85	53	49	37	34	26	16	17	43	4	25						
水痘	59	1	7	15	13	4	5	6	3	2		1	1		1						
手足口病	53	1	5	18	9	9	6	1		1		2	1								
伝染性紅斑	3								2					1							
突発性発しん	42	1	18	20	2		1														
百日咳	1												1								
ヘルパンギーナ	2							1													
流行性耳下腺炎	2								1	1											
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	17				1			1					1			5	4	2	1	2	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	0																				
クラミジア肺炎	0																				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 咽頭結膜熱 : 菊池
- 手足口病 : 菊池、山鹿
- 感染性胃腸炎 : 菊池

県内麻しん発生数
ゼロを維持していくため
MRワクチン(2回)を
必ず受けましょう



麻しんは感染力が大変強く、感染すると脳炎などの深刻な合併症をおこす場合や、命にかかわることのある重篤な病気です。麻しんに特別な治療法はありませんが、予防接種で予防できる感染症です。2007年度、予防接種を1回しか受けていない10代や20代の学生が学校で麻しんに感染し、全国的に大流行となりました。この大流行を受けて、2008年度から定期予防接種対象者に従来の生後12~24月(第1期)、就学前1年間(第2期)に加え、中学1年生(第3期)と高校3年生相当時(第4期)を5年間限定で追加し、ワクチン接種の対策を強化しました。その結果、全国では2008年に1万件以上あった報告数が、2012年には293件、97%と大きく減少しました。県内においても2010年5月以降、麻しん患者の報告はみられず、現在まで麻しん排除の状態を維持しています。

2012年12月に「麻しんに関する特定感染症予防指針」が改定され、「2015年までに麻しんの排除を達成し、WHOによる麻しん排除の認定を受け、かつ、その後も麻しんの排除の状態を維持すること」を新たな目標とする指針が示されました。麻しん排除には予防接種率を高く保っておくことが必要であり、第1期、第2期の定期接種率95%以上を目標としています(第3期、第4期の定期接種は2012年度までで終了しました)。県内における平成24年度の定期予防接種率は、第1期が98.1%と全国平均よりも高く、目標を達成していますが、第2期は94.7%と目標まであと少しのところ、1回の接種では免疫がつかなかったり、時間の経過とともに免疫が低下する場合がありますので、きちんと2回接種しておくことがとても大切です。小学校入学前には2回の定期接種が済んでいるか確認し、済んでいないお子様は忘れずに予防接種を受けるようにしましょう。

